

<NPO 法人松山子ども劇場 21 第 104 回舞台鑑賞例会>

影絵劇団くぶくぶ

ジャワ島の影絵芝居とガムラン音楽

「きんぎょがにげた」



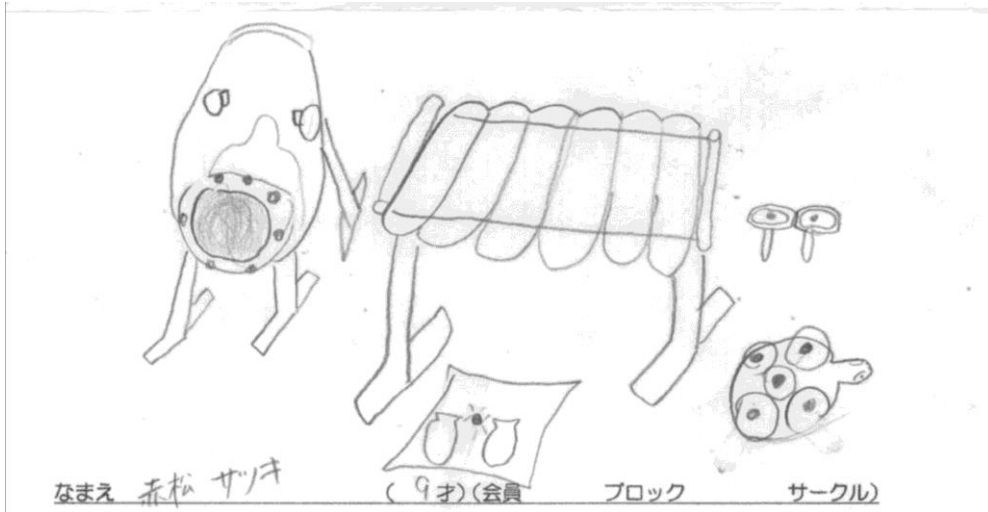
<ほりかわちあき 5才

2018年3月1日(木)19:00 開演(上演時間 60分)

コミセン企画展示ホール

★ 音楽もすごくよく、金魚も難しいところに隠れ、難しいのがいくつかありました。3こめの話もはくりよくがありインドネシアの楽器もよかったです。

赤松 サツキ (9才)



★ かげ絵とってもおもしろかったです。

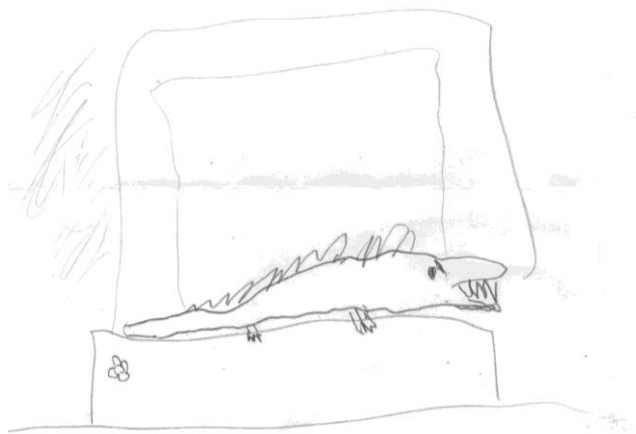
堀川 晶 (11才)



★ ちゃんとできていてすごかったです。

みやがわ ありひと (7才)

- ★ と中でわにの時にうるさいところがあったけど小さいしかがにげるのがおもしろかったです。 八づか元ひろ（8才）



なまえ あかまつちはる (6才) (会館 城西ブロック サークル)

- ★ おもしろかった。 堀川 睦（10才）

- ★ リズムのいい音ときれいなかげ絵でとてもたのしかったです。すごくこまかい絵の元を皮で作っているのがすごいと思いました。 赤松 瑞夏（12才）

- ★ 私は一番最後のお話が面白かったです。ワニをどんでんわたる方法を考えるのが面白かったです。めったにさわれない楽器をさわられて良かったです。

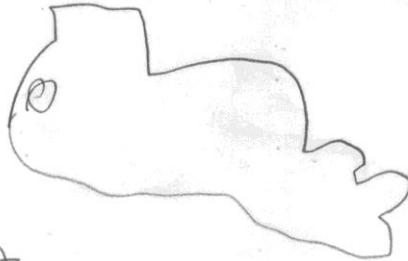
- ★ たのしかったです。 門田 昂西星（7才）

- ★ きんぎょが絵本をとびだして、インドネシアの市場や動物たちとふれあっていくのがおもしろく感じました。ガムランの音楽とワヤンの影絵でたつぷりと異文化にひたりました。ローフィットさんのたどたどしい日本語もたのしめました。

- ★ いいにんぎょうでした。 だいち

★ 感想を書いてください。

いい感じようで
した



なまえ だいち (オ) (会員) ブロック サークル

- ★ 小さい子に向けた影絵と音楽の構成が素晴らしかったと思います。
ガムラン楽器のやさしい響きに癒されました。 堀川 泰子 (大人)
- ★ 見たこともきいたこともない楽器の音色にあわせてのすてきな歌とともに
はじまり、影絵などひたりました。インドネシア風にひたりました。影絵の
勉強になりました。 (大人)
- ★ 作品も音楽もとても良かったです。大人が見てもカラフルで幻想的で引き込
まれる世界観でした。子どもたちも一緒に歌ったり楽しそうで、良い観劇体
験になったと思います。また他の作品も見たいです。
(大人)
- ★ おはなしもえんそうも一体となってとてもすてきでした。子どもたちもひき
こまれて 3才の娘は踊り出しそうでした。
幼稚園で今日チラシをもらい初めてきました。きてよかったです。
(大人)
- ★ 見ごたえのある作品でした。ワヤンとガムランそしてきんぎょのミックスし

た構成に知らぬ間にひきこまれていました。なかなか出会えない作品で、また機会があれば見たいなと思いました。子どもたちがのめりこんでみている様子を感じながら、一緒に舞台が見れたのはとてもハッピーでした。

(大人)

- ★ すばらしい！きんぎょを追いかけてみんなで歌う影絵劇？五味太郎さんの名作絵本 ガムランのやさしい音色と美しい歌声にのって一緒にきんぎょを見つけよう！見つけたよ。

楽しさを共有でき、一緒に引き込まれました。ご夫妻の共演 息もぴったり！「まる○さんかく△しかく□」「ワニとやんちゃなしか・カンチル」大人も子どもも影絵劇団くぷくぷにはめられて、時間が過ぎるのを忘れるほど……今年度の最後を飾ってくださいましたね。

(大人)

- ★ 宏美さんが化粧をして出てきた時 思わずジャワ島から来た人かと思いました。ガムラン奏者に初めて出会って感激しました。

(大人)

- ★ ローフィーさん日本に来てくれてありがとうございます。子どもは夢中でアンケートを書いていました。バザーで色鉛筆を買ったことも意欲につながりました。

(大人)



うちあわせ はじまりのあいさつ 緊張したけどうまくいったよ！

★ ガムラン楽器の生演奏の耳慣れない音階はきれいな音色だけど、何だか少しざわざわする。規則正しい音階の音楽に慣れた感覚はそこから外れると不安になる。その微妙な感覚はずれすぎると嫌いになるが、ほんのすこしの揺らぎは逆に気持ちがいい。

今回の作品は影絵とガムラン音楽の異国情緒あふれる良作だと感じた。カラフルな色使いは五味太郎の絵本から抜け出たようで、ゆったり、優しく、流れていくようだ。きんぎょが飛び出して、いく先々。はじめは自分のいる場所だった。次々きんぎょはにげていく。だが、気がつくそこは異国の風景。少し昔の日本にも似た、南国の街。森。音楽に導かれるように、暑くて沢山の人で賑わう熱気のある街にいるような、旅をしてるような感じがした。金魚鉢に帰ってきたきんぎょ。おかえり。わたしもただいま。

ワニとカンチル: ジャワの民話をもとに作られたこのお話は、とんち話で、カンチルが食べられなくてよかった、と、子どもたちと一緒に素直に思った。でも、終わってからなんだか憎めないワニに同情してしまった。カンチルを食べてはほしくないけど。ワニがお腹を空かせてるのもかわいそう。なんてね。

(藤田 浩子)



お客さん 早く来てください

舞台鑑賞事業部より

舞台鑑賞事業部 上松君乃

平日木曜の夜の例会でしたが、観客は会場いっぱい、120名以上で鑑賞しました。使えなかった例会チケットで友だちを誘ったり、チケットの人も多く参加していました。チラシや声かけで、「どんな作品なのか。」とワクワク、期待が膨らむ作品となりました。

ご夫婦で本格的ジャワの伝統芸能を演じ、1歳になる女の子も一緒に来ており、家族の仲の良さも見受けました。ローフィットさんはダラン（影絵人形遣い手）でパクアラマン王宮の楽団員としても活動し、2005年から日本在住。日本語のセリフは片言でしたが、とても雰囲気がありました。

◎オリジナル音楽影絵「まる○さんかく△しかく□」◎音楽影絵原作五味太郎「きんぎょが にげた」◎動物人形劇「ワニとやんちゃなしか・カンチル」3本の小さな作品で構成されており、いろいろな工夫がされて、小さな子どもたちも集中して鑑賞することができました。

ガムランは自然の素材から出る生の音。単純なメロディが繰り返されて、やさしい声と分かりやすい唄。ガムランとワヤン（影絵）で不思議で幻想的な世界が作りだされました。

作品上演後に交流会があり、楽器やワヤンに触れることができました。ワヤンはとても精巧で美しく、実際に動かしたり、楽器の音を出したりすることができました。ジャワの伝統芸能とても貴重な体験になりました。



プレゼントは中島のおいしい色々なみかん





たくさんの荷物を車に積んでお疲れ様でした。



当番ブロックより

道後ブロック 井上真理

子どもも大人もなじみのある「きんぎょがにげた」のお話が、宏美さんのやわらかい歌声とガムラン楽器の音色、ローフィさんの操る精巧なワヤンにより、とても異国ムード漂う素敵な作品となり、あっという間の1時間でした。幼児から小学生のブロックの子どもたちは慣れない手つきでもぎりやお約束のあいさつ、プレゼント渡しなど当番ブロックの役割もしっかりと行うことができました。ロビーでは「きんぎょがにげた」の絵本にちなんで、画用紙で作った金魚に思い思いの目を描き、大きな水槽の壁面を完成させたり、劇の後でガムラン楽器やワヤン人形に触れ、実際操ってみたい、と劇を見るだけでない貴重な体験をすることでより一層心に残る当番例会になりました。

東部城東素鷲ブロックと合同での当番でした。

ふれあい交流会の様子

大切な楽器に触ったり、ワヤン人形を手にとって動かしたよ！

